

# 保健・医療のつばさ事業

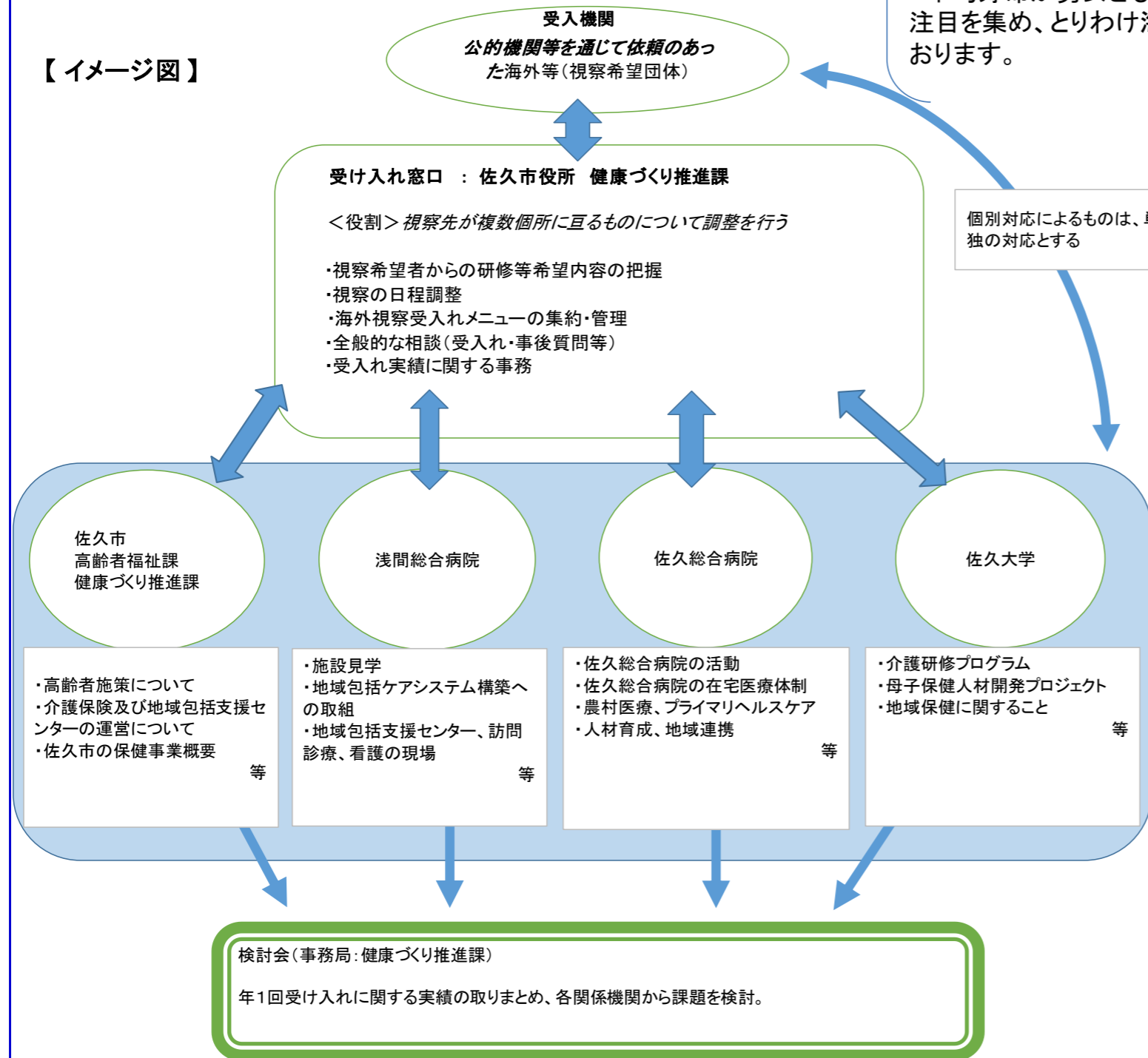
資料NO.1-1

安心安全でやさしい社会、そして健康長寿なまちづくりを、佐久市から海外へ



佐久市には、これまで先人たちが築いてこられた市民の「健康長寿」を支える保健・医療のシステムがあります。  
平均寿命が男女とも全国20位内となり、国内外から注目を集め、とりわけ海外からの視察研修が増加しております。

【イメージ図】



個別対応によるものは、単独の対応とする

これまでは・・・

海外からの視察研修について、1度のスケジュールの中で複数個所にまたがる場合も多く、分野也多岐に渡っております。  
それらを、受け入れ機関がそれぞれの専門分野に応じで対応していました。



これからは・・・

4者が一体となって連携し、海外からの視察研修を受け入れ、また、フォローアップを行います。  
フォローアップ体制を確立することにより、研修視察者のみの知識技能の習得に留まらず、その団体や相手国全体への国際展開につながります。

(目的～覚書より～)海外視察希望者に対して、速やかに希望の内容に応じた情報や視察機会の提供が行えるよう、また、海外視察に際して、4者がより効率的・総合的かつ適正な受け入れ体制を確立し、佐久地域の保健医療の特徴を十分認識し、その特徴を活かした国際貢献に資すること、さらには、将来の地域の交流人口の創出を図ることを目的とする。



2016年度(平成28年度)「保健・医療つばさ事業」視察研修受入状況

佐久市役所・佐久総合病院

月日	視察者	人数	視察国の課題・目的	受入先		講義内容
5月15日(水) ～5月23日(月)	ベトナム 社会保障・保健省(JICA)	19名	<p>【国家情勢】 近年、急速な経済成長により、国民のライフスタイルも変化し、栄養状態を含めた生活環境が改善している。 こうした中、国において、国民皆保険制度の確立に向けた動きが見られるが、一方で、貧困層とされる国民が全体の8割を占めており、制度運用には課題も多い。</p> <p>【健康課題】 ベトナムでは出生率の低下や平均寿命の延伸により、2020年以降は、日本の1.5倍のスピードで高齢化が進むと予想されている。 こうした中で、死亡原因が7割という非感染症疾患(NCDs)の予防対策に政策の力点が置かれつつある。 また、高齢者対策として、現在、高齢者に特化した医療を提供する国立老人医療センターがあるが、さらに同様のセンターを増やす予定である。</p>	15日	来日	オリエンテーション
				16日	厚生労働省	日本の社会保障と医療保険
				17日	社会保険診療報酬支払基金	日本の医療保険における診療報酬請求の審査制度
				18日	全国健康保険協会(協会けんぽ)	協会けんぽの概要
				19日	佐久市役所	国民保険運営の現状と課題、生涯を通じた健康への取組
				20日	佐久総合病院、佐久穂町、北相木村	佐久病院の歴史と概要、佐久穂町の保健事業概要、北相木村診療所運営形態等
				21日	移動	
				22日	休日	
				23日	政策研究大学院大学(有識者による講義)	日本の国民皆保険
				24日	離日	

月日	視察者	人数	視察国の課題・目的	受入先		講義内容
10月16日(日) ～10月29日(土)	ミャンマー 社会保障・保健省(JICA)	12名	<p>【国家状勢】 2012年以降、それまでの軍事政権から、民主政権へ移行。これにより近年、経済成長が著しいが、一方で、国民の経済的格差が大きく広がっている。 平均寿命は、男性63.5歳、女性68.4歳と、アジア諸国の中で最も低い。</p> <p>【健康課題】 保健医療行政にかかる国家予算は、GDPの2%程度である。 国家レベルにおいて5か年の保健計画の策定が進んでいるが、これまで適切なモニタリング・評価が行われず事業管理に活用されてこなかった。 州レベルでは、更に政策意識が引く状況である。 また、医療・保健スタッフの不足、育成が課題となっている中で、臨床研修プログラム、院内研修プログラム改善が検討されている。 疾病状況を見ると、結核、マラリアなどの感染症が多く、特に結核の感染率は世界平均の3倍。 また、近年、生活環境の変化により、非感染症患者も増えてきている。</p>	16日	来日	オリエンテーション
				17日	厚生労働省	日本の保健医療システム、保健政策と保健計画
				18日	長野県	県政及び健康福祉行政の概要、へき地医療の取組、医師確保等
				19日	須坂病院	県立病院機構の役割、具体的な取組等
				20日	佐久総合病院、小海診療所	佐久総合病院の歴史と概要、訪問診療同行
				21日	佐久総合病院、佐久医療センター	地域保健医療システムにおける役割、研修の振り返り及びHSSプロジェクト活動への活用
				22日	休日	
				23日	佐久総合病院小海分院	病院祭視察
				24日	飯田伊賀良自治振興センター、飯田市役所	飯田市の保健事業について、地域健康ケア計画について
				25日	飯田市立病院	中期計画について、感染防御、包括医療協議会の概要
				26日	佐久市役所、南牧村診療所、野辺山へき地診療所	保健医療サービスの質とアクセス向上に向けた佐久市の取組、佐久市保健計画管理、診療所視察
				27日	佐久総合病院	臨床研修の実際
				28日	評価会・終了式	
29日	離日					

(参考)

佐久総合病院・佐久大学

月日	視察者	人数	視察国の課題・目的	受入先	講義内容
8月29日(月) ～8月31日(水)	仏語圏アフリカ	17名	仏語圏アフリカ保健人材ネットワークに係る 有識者協議	29日 ～31 日 佐久総合病院・佐久大学	高齢化医療への取組、地域包括ケアとPHC 日本の地方における保健人材確保

佐久大学・佐久市役所

月日	視察者(事業名称)	人数	事業の目的・経過	受入先	講義内容(活動内容)
H28. 1月～継続	タイ国チョンブリ県 サンスク町 ブラパ大学関係者  「高齢者が支え、支えられる コミュニティ」の構築		タイ国の平均高齢化率(60歳以上)は14% (2012)、20年後の高齢化率の予想は26.1% であり、チョンブリ県の高齢化率は9.7% (2012)である。 タイ国では、第二次高齢者国家計画(2002- 2021)が策定されているが、具体的な活動は 自治体に任されている。戦略の指標を達成 すべき具体的な方法や、そのためのデータ 収集は十分とは言えない。 佐久大学及び、佐久市では、平成26年度より、 公益財団法人「トヨタ財団」の国際助成 プログラムを活用し、佐久地域において進め られてきた「健康増進対策」及び「高齢者対 策」のノウハウを、サンスク町の関係者と共 有しフィードバックされることで、当該地域の 課題解決に役立てるとともに、当市におい ては、地域保健活動の原点を見直す機会とす ることが出来ることから、相互交流を開始し た。 その後、本事業の支援団体はトヨタ財団か ら独立行政法人国際機構(JICA)に引き継が れ、平成30年12月まで継続される予定であ る。	29日 ～31 日 佐久大学・佐久市	1. 両国の関係者は、対象地域の課題のデータ及び資料の収集を 行う。 2. 佐久大学、佐久市の関係者は対象地区サンスク町を訪問し、佐 久市が現在のチョンブリ県の高齢化率約10%の時代の政策と活動 を振り返りながら対象地域の現状を把握し、特徴を理解する。 3. 対象地区サンスク町(チョンブリ県メオング・チョンブリ郡)の関係 者は、佐久市を訪問し、関係施設を視察し、政策実施に係る行政と の協力体制、具体的な活動について知見を得て、タイの対象地域へ 応用して反映させる。 4. タイ側、日本側の関係者は、佐久市で一同に会し、講演会、地域 の病院祭への参加、保健・看護普及のための寸劇、ワークショップ 等に参加し、提言に向けた議論を重ねる。 5. 提言書は、具体的に明示し実践しやすいものとする。小冊にまと め、サンスク町、関係保健医療施設へ配布する。